

エコアクション21

2021環境経営レポート



対象期間 : 2021年2月 ~ 2022年1月

作成日 2022年5月20日

あさひな株式会社・株式会社ダイゴ・株式会社伸孝

 あさひな グループ

《 目 次 》

1. 環境経営方針	1
2. 事業概要	2
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者氏名及び事務局	
(4) 担当者連絡先	
(5) 事業活動の内容	
(6) 事業の規模	
(7) 認証・登録範囲	3
(8) 推進組織図	4
3. 環境経営目標	5
4. 環境活動計画	6
5. 実績と評価(あさひな㈱)	7
実績と評価(㈱伸孝・㈱ダイゴ)	8
6. 実績結果の経年変化	9
7. その他の取組結果(太陽光発電量)	10
8. 次年度の環境経営計画	11
9. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟の有無	12
10. 代表者による全体評価と見直し	13

環境経営方針

《環境経営理念》

遠州の恵まれた自然環境の中に立地する当社は、主に輸送機器部品の梱包・包装事業及び輸送機器用部品の金属加工事業、及びFRPプール、土木資材・遊具の販売・組立を中心に地域産業と共に発展をめざしております。これらの事業を進めるにあたり、事業活動の環境に対する影響を評価し、重要な項目に関しては、技術的、経済的に可能な範囲で、社内の関連する部門及び階層において環境に配慮した活動を推進いたします。また、併せて売上向上につながる目標を設定することにより、目標達成の向上を目指します。特に、以下の項目については重点的に取り組みします。

《環境保全への行動指針》

1. 環境関連法規を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
2. 環境負荷物質の低減に努めます。
3. リサイクル化を推進し、廃棄物の低減に努めます。
4. 環境に配慮した商品の提供及び購入に努めます。
5. 作業品質、作業能率の向上に努めます。
6. 環境経営の継続的な改善に努めます。

制定日： 2005年2月1日

改定日： 2020年2月1日

あさひな株式会社・株式会社伸孝・株式会社ダイゴ

代表取締役 朝比奈 尚希

2 事業活動の概要

あさひな株式会社、株式会社伸孝及び株式会社ダイゴの3社は、グループ企業として密接に結びつき、地域産業と共に発展しております。ヤマハ発動機株式会社構内においては、その製造ラインの一翼を担う、あさひな株式会社(梱包部門)、株式会社伸孝(配送事業部)及びそれぞれの事務部門は既にヤマハ発動機株式会社のISO14001への取組に参画しております。これら組織以外の、グループ本社・あさひな株式会社(部品事業部、木材事業部)株式会社ダイゴ(金属加工事業部)、株式会社伸孝(ボート事業部、環境景観事業部)において、「エコアクション21」環境経営システムへの取組を致しております。

■ 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名 あさひな株式会社・株式会社ダイゴ・株式会社伸孝

代表取締役 朝比奈 尚希

(2) 所在地 〒437-0225
静岡県周知郡森町谷中599

(3) 環境管理責任者氏名 及び事務局	EA-21 責任者	(株)伸孝	部長	今田 優
	EA-21 事務局	あさひな(株)	課長	鈴木 晃彦
	EA-21 事務局	(株)ダイゴ	工長	松下 豊
	EA-21 事務局	(株)伸孝	部長	今田 優

(4) 担当者連絡先 総務課 萩原 直己

Tel 0538-36-1138

Fax 0538-36-1136

E-mail ij-sinko@za.tnc.ne.jp

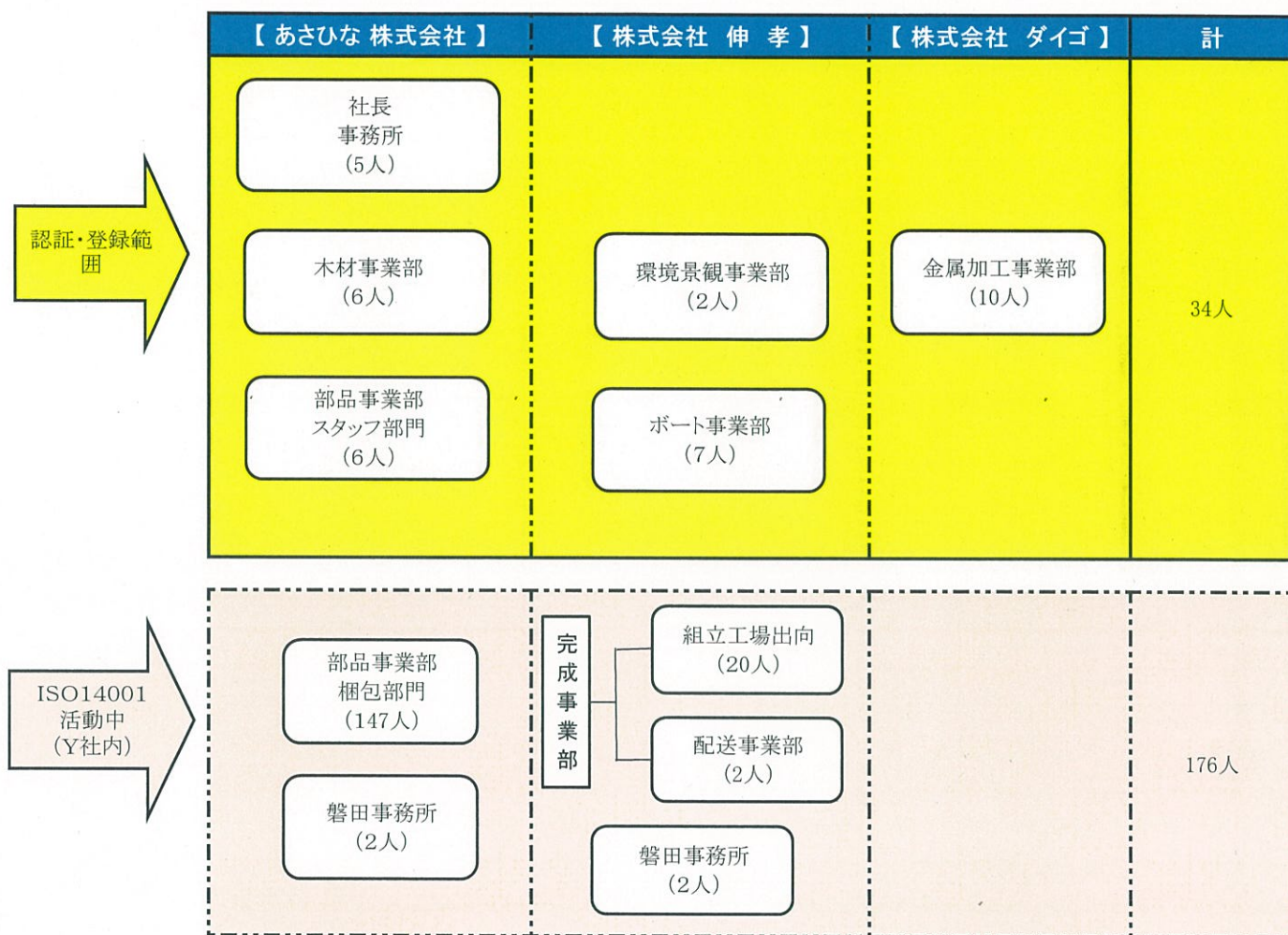
(5) 事業活動の内容 輸送用機器部品の金属加工・梱包資材の加工・販売、ボートのセッティング・マリン製品の仕様変更及びアフターサービス、FRPプール・土木資材・遊具の販売施工及び保守管理、太陽光発電事業

(6) 事業の規模

各年度:2月1日～1月31日

活動規模	単位		2019年度	2020年度	2021年度
売上高	百万円	あさひな(株)	174	177	222
		(株)伸孝	270	274	173
		(株)ダイゴ	217	156	200
		合 計	661	607	595
従業員	人	あさひな(株)	16	17	17
		(株)伸孝	9	9	9
		(株)ダイゴ	9	8	10
		合 計	34	34	36
床面積	㎡	あさひな(株)	945	945	945
		(株)伸孝	743	743	743
		(株)ダイゴ	1172	1172	1172
		合 計	2,860	2,860	2,860

(7) 認証・登録範囲

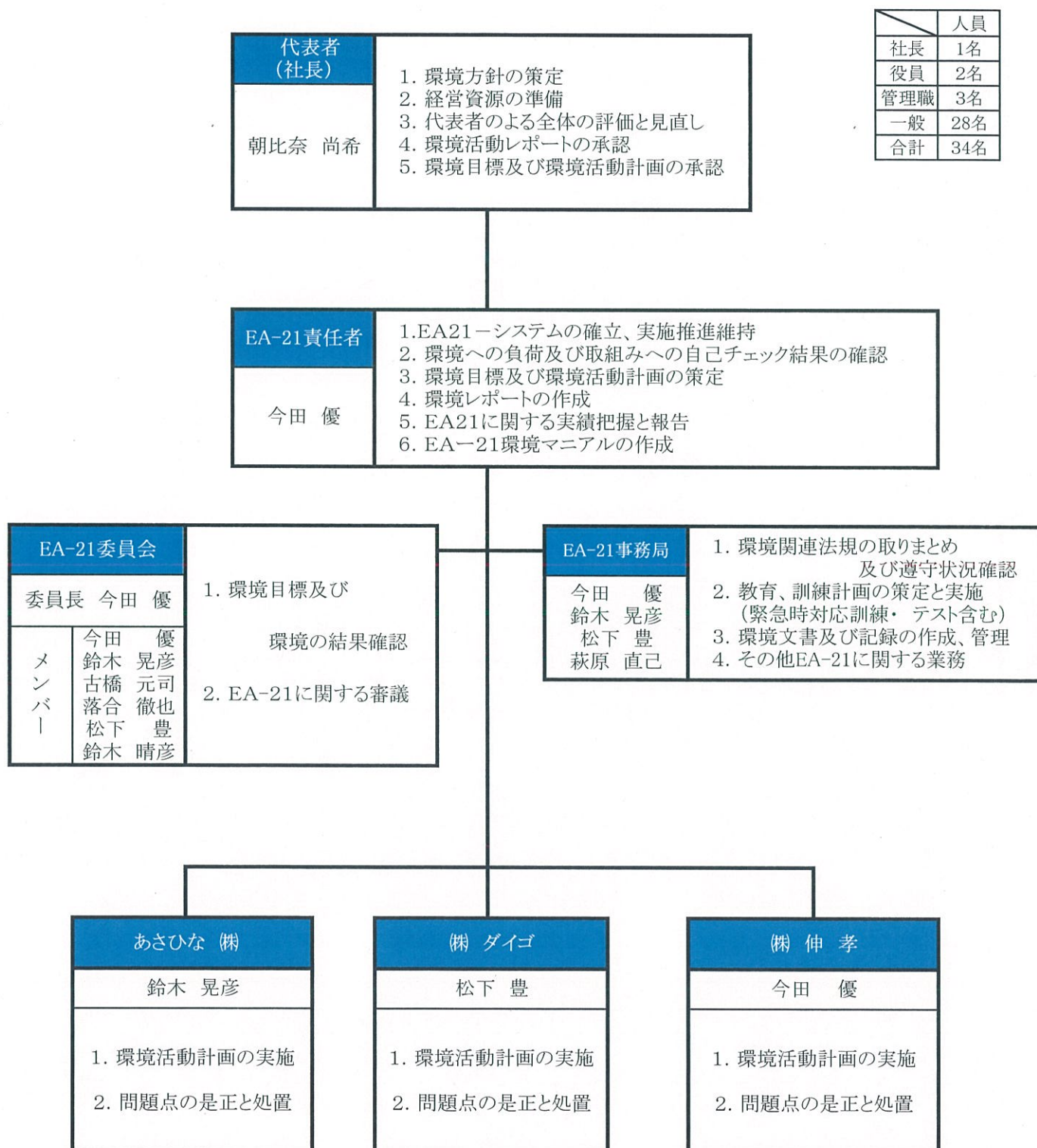


(各社の関係)

あさひなグループは あさひな㈱・㈱ダイゴ・㈱伸孝の3社で形成し、各社の得意分野で会社を運営しています。
また、経営者も3社とも同じでいろいろな面で協力しあう共同体で地域密着型の企業群です。

制改定履歴	
制 定	2005年2月24日
最終改定	2021年5月01日

あさひな株式会社 株式会社 伸孝 株式会社 ダイゴ
EA-21推進組織図



3. 環境経営目標

CO₂排出量の実績及び目標は、あさひな本社、伸孝ボート事業部は中部電力排出係数“0.476”を、ダイゴ、あさひな木材事業部は鈴与商事排出係数“0.507”(H30.12.27公表)を使用しております。化学物質については、取引先から種類、量の指示(仕様書)、及び支給品により、削減はできないため、環境目標には挙げず、化学物質の適正管理に努めます。

■エコ活動(継続活動)

取組項目	単位	会 社	2018年実績	2019年目標	2020年目標	2021年目標	2022年目標
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	全社目標	307	307	307	307	307
		あさひな	206	206	206	206	206
		伸孝大島(事)	534	534	534	534	534
		ダイゴ	636	636	636	636	636
	kg-CO ₂	伸孝環境景観(事)	6,359	6,359	6,359	6,359	6,359
廃棄物の削減	%	全社目標	95%	95%	95%	95%	95%
		再生利用率					
		あさひな	99%	99%	99%	99%	99%
		伸 孝	61%	61%	61%	61%	61%
		ダイゴ	100%	100%	100%	100%	100%
	t/百万円	全社目標	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
		最終処分					
		あさひな	0.0024	0.0024	0.0024	0.0024	0.0024
		伸 孝	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010
上水使用量の削減	m ³ /人	全社目標	7.05	7.05	7.05	7.05	7.05
		あさひな	7.72	7.72	7.72	7.72	7.72
		ダイゴ	6.30	6.30	6.30	6.30	6.30
社用車燃費向上	km/ℓ	プロボックスG(事務所)	12.52	11.27	11.27	11.27	11.27
		プロボックスG(木材)	15.49	13.94	13.94	13.94	13.94
		日野4tトラックK(木材)	6.24	5.62	5.62	5.62	5.62
		日野4tキャブK(木材)	6.57	5.91	5.91	5.91	5.91
		プロボックスG(GPC)	13.50	12.15	12.15	12.15	12.15
		日野2tトラック(GPC)	8.50	7.65	7.65	7.65	7.65
		プロボックスG(環境358)	14.47	13.02	13.02	13.02	13.02
		プロボックスG(環境4487)	15.00	13.50	13.50	13.50	13.50
		ハネットG(ボート)	12.67	11.40	11.40	11.40	11.40
		三菱2tトラック	5.99	5.39	5.39	5.39	5.39
		あさひな					
		伸 孝					
		ダイゴ					

■課題改善活動

取組項目	単位	会 社	2018年実績	2019年目標	2020年目標	2021年目標	2022年目標
出荷精度の向上	ppm	あさひな	23.7	26.0以下	26.0以下	26.0以下	26.0以下
グリーン商品の拡販	万円		24,998	24,998以上	24,998以上	24,998以上	24,998以上
購入資材コストダウン	千円		1,088	700以上	700以上	700以上	700以上
リサイクル商品の拡販	千円	伸 孝	8,958	8,958以上	前年以上	前年以上	前年以上
リニューアルプールの契約	件		1	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上
新規顧客の開拓	件		0	1件以上	1件以上	1件以上	1件以上
生産性向上(改善金額)	千円		407	240以上	150以上	150以上	180以上
生産性向上(総エネルギー)	%	ダイゴ	BM比108	103	104	105	107

① ダイゴの目標の計算に使用している規模金額は、環境負荷に連動する加工金額を使用

② グリーン商品の購入はグループ会社として、事務用品、作業服、IT機器等のグリーン認定品を優先的に購入しています。

4. 環境経営計画

■エコ活動(継続活動)

推進項目	推進内容		あさひな	伸孝	ダイゴ
CO2の削減	電力使用量の削減	①冷暖房の温度管理 (28℃ & 20℃)	○	○	○
		②設備、機器類の非稼働時の電源OFF実施	○	○	○
		③無人スペースの照明消灯	○	○	○
		④休憩時の照明消灯	○	○	○
		⑤夏季クールビズ、冬季ウォームビズの実施		○	○
		⑥グリーンカーテンの設置	○		
	化石燃料の削減	①エコドライブの周知徹底	○	○	○
		②タイヤ空気圧の定期確認	○	○	○
		③納品回数の低減 (積載効率向上)	○		○
		④灯油使用量の管理		○	○
太陽光発電	発電量の確認	○	○		
廃棄物の削減	①木屑のリサイクル推進	○			
	②廃プラのリサイクル化	○		○	
	③コピー用紙の両面使用	○	○	○	
	④ダンボール、オフィス古紙のリサイクル推進		○	○	
	⑤金属くずのリサイクル化	○	○	○	
上水使用量の削減	①節水の励行	○	○	○	
	②節水コマの設置による節水	○	○	○	
	③漏水の定期確認			○	
化学物質の管理徹底	①使用量の管理徹底		○	○	
	②敷地外漏洩の防止		○	○	
グリーン購入の推奨	①再生紙コピー用紙の積極購入	○	○	○	
	②再生材料から作られた製品の積極購入	○	○	○	
美化運動	敷地の草取り、ゴミ・空き缶拾い	○	○	○	

■課題改善活動

出荷精度の向上		○		
グリーン商品の拡販	リサイクル可能商品の販売及び開発	○		
購入資材コストダウン		○		
リサイクル商品の拡販			○	
リニューアルプールの契約			○	
新規顧客の開拓			○	
生産性向上(改善金額)	作業性改善の提案活動		○	
生産性向上(総能率)	設備更新、サイクルタイム短縮改善			○

5. 実績と評価

(1) 全社実績

《実績》

取組項目	単位	2018年		2021年		判定
				目標	実績	
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	307		307以下	252	○
廃棄物の削減	%	再生利用率	95%	95以上	96	○
	t/百万円	最終処分	0.005	0.005以下	0.002	○
上水使用量の削減	m ³ /人	7.05		7.05以下	6.85	○

(2) あさひな株

《実績》

取組項目	単位	2018年		2021年		判定
				目標	実績	
CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂ /百万円	206		206以下	231	×
廃棄物の削減	%	再生利用率	99	99以上	100	○
	t/百万円	最終処分	0.0024	0.0024以下	0.000	○
上水使用量の削減	m ³ /人	7.72		7.72以下	7.99	△
出荷精度向上	ppm	23.7		26.0以下	26.5	△
購入資材のコスト削減	万円	108		70以上	85	○
受入～格納リードタイムの短縮	日	2.4		2.5日以下	3.16	×
燃費向上	プロボックスG(事務所)	km/ℓ	12.52	11.27以上	13.72	○
	プロボックスG(木材)		15.49	13.94以上	14.76	○
	日野4tトラックK(木材)		6.24	5.62以上	6.49	○
	日野4tキャブK(木材)		6.57	5.91以上	6.65	○
	プロボックスG(GPC)		13.50	12.15以上	12.40	○
	日野2tトラック(GPC)		8.50	7.65以上	7.50	△

＜備考＞○印:達成, △印:ほぼ達成, ×:未達成

《評価》

- ・包装センターの前年度5月からの稼働に伴い電気、水道量増によりCO₂排出量も増加
- ・受入～格納リードタイムの短縮は、コロナ過での仕事の集中負荷により達成できず。
- ・エコ活動は目標未達の項目もあるが、継続活動として成果は出ていると思う。

(3) ㈱伸 孝

取組項目		単位	2018年		2021年		判定
					目標	実績	
CO ₂ の削減		kg-CO ₂ /百万円	534		534以下	202	○
CO ₂ の削減(環境景観事業部)		kg-CO ₂	6,359		6,359以下	5,862	○
廃棄物の削減		%	再生利用	61	61以上	60	△
		t/百万円	最終処分	0.010	0.010以下	0.007	○
リサイクル商品の拡販		千円	8,958		8,958以上	9,850	○
FTRPプールの契約		件	2		2以上/年	2	○
新規顧客の開拓		件			1以上/年	1	○
生産性向上(改善金額)		万円	40.7		15以上/年	10.8	×
燃費	サクシード(環境#358)	km/ℓ	14.47		13.02以上	15.08	○
	サクシード(環境#4487)		15.00		13.50以上	15.43	○
	パネットG(ボート)		12.67		11.04以上	11.83	○

＜備考＞○印:達成, △印:ほぼ達成, ×:未達成

《評価》

- ・再生利用は、ウォータービークルのカバーが多いがWV自体の台数減により減少。生産性向上は、項目の見直しが必要。
- ・課題改善活動のリサイクル商品の拡販、リニューアルプールの契約等いずれも積極的な活動展開が実を結び目標達成ができた。

(4) ㈱ダイゴ

取組項目		単位	2018年		2021年		判定
					目標	実績	
CO ₂ の削減		kg-CO ₂ /百万円	636		636以下	290	○
廃棄物の削減		%	再生利用率	100	100	100	○
		t/百万円	最終処分	0	0	0.000	○
上水使用量の削減		m ³ /人	6.30		6.30以下	4.92	○
生産性向上(総合能率)		BM=100	108		104以上	155	○
燃費向上		km/ℓ	5.99		5.39以上	5.80	○

＜備考＞○印:達成, △印:ほぼ達成, ×:未達成

《評価》

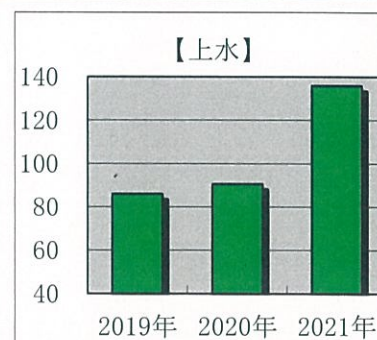
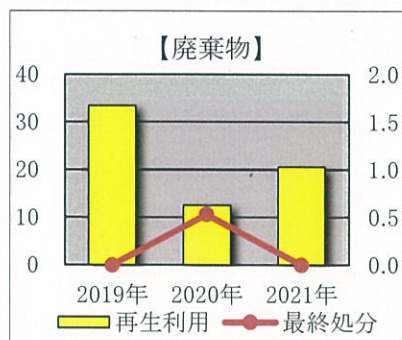
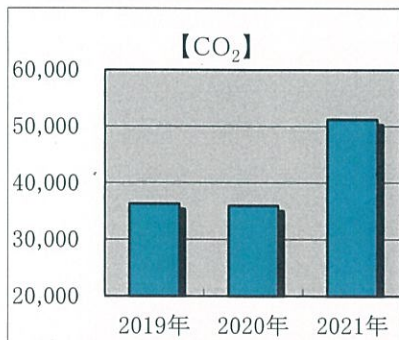
- ・すべての項目において環境経営目標を達成できた。

6. 実績結果の経年変化

過去3年間の環境負荷実績は下表の通りです。

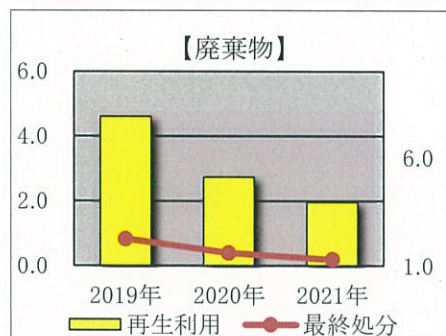
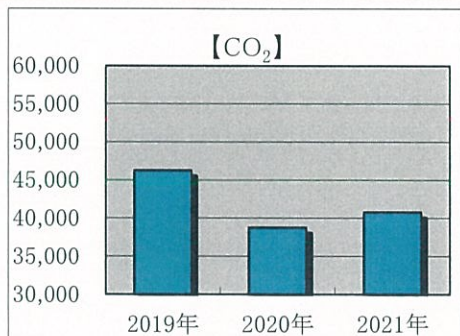
(1) あさひな(株)

No.	取組項目	単位	2019年	2020年	2021年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	36,259	35,920	51,191
廃棄物の削減	再生利用	t	33.46	12.50	20.57
	最終処分	kg	0.00	0.53	0.00
	上水使用量の削減	m ³	85.9	90.5	135.8



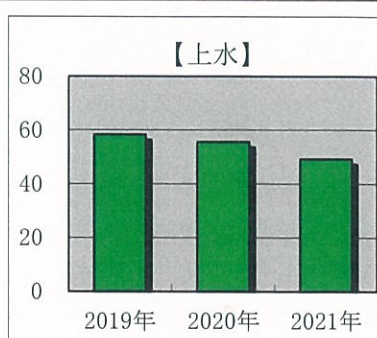
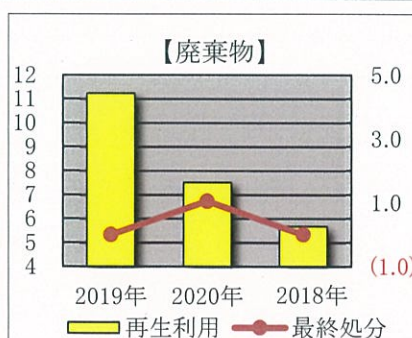
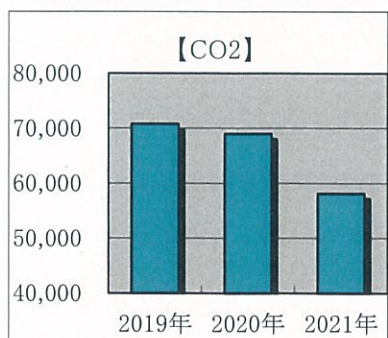
(2) 株式会社伸孝

No.	取組項目	単位	2019年	2020年	2021年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	46,264	38,770	40,793
廃棄物の削減	再生利用	t	4.61	2.73	1.96
	最終処分	t	2.25	1.60	1.29
	上水使用量の削減	m ³	—	—	—



(3) 株式会社ダイゴ

No.	取組項目	単位	2019年	2020年	2021年
	CO ₂ 排出量の削減	kg-CO ₂	70,798	68,944	58,086
廃棄物の削減	再生利用	t	11.22	7.50	5.67
	最終処分	t	0	1	0.00
	上水使用量の削減	m ³	58.2	55.5	49.2

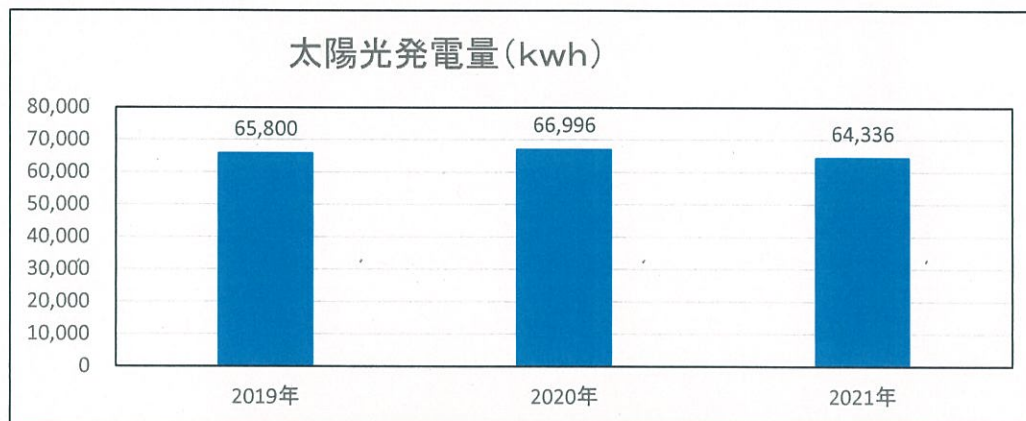


7. その他の取組結果

<太陽光発電量>

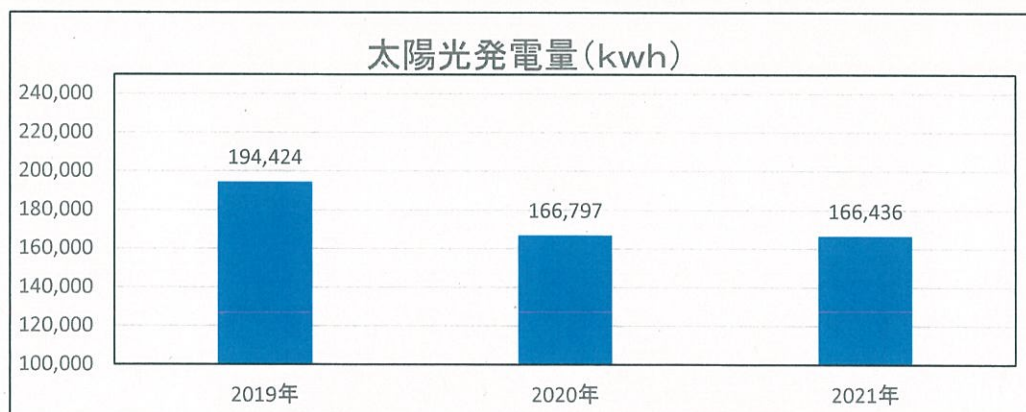
あさひな

取組項目	単位	2019年	2020年	2021年
太陽光発電量	kwh	65,800	66,996	64,336



(株)伸孝

取組項目	単位	2019年	2020年	2021年
太陽光発電量	kwh	194,424	166,797	166,436



8. 次年度の環境経営計画

■エコ活動(継続活動)

推進項目	推進内容		あさひな	伸孝	ダイゴ
CO2の削減	電力使用量の削減	①冷暖房の温度管理(28℃ & 20℃)	○	○	○
		②設備、機器類の非稼働時の電源OFF実施	○	○	○
		③無人スペースの照明消灯	○	○	○
		④休憩時の照明消灯	○	○	○
		⑤夏季クールビズ、冬季ウォームビズの実施	○	○	○
		⑥グリーンカーテンの設置	○		
	化石燃料の削減	①エコドライブの周知徹底	○	○	○
		②タイヤ空気圧の定期確認	○	○	○
		③納品回数の低減(積載効率向上)	○		○
		④灯油使用量の管理		○	○
太陽光発電	発電量の確認	○	○		
廃棄物の削減		①木屑のリサイクル推進	○		
		②廃プラのリサイクル化	○		○
		③コピー用紙の両面使用	○	○	○
		④ダンボール、オフィス古紙のリサイクル推進	○	○	○
		⑤金属くずのリサイクル化	○	○	○
上水使用量の削減		①節水の励行	○	○	○
		②節水コマの設置	○	○	○
		③漏水の定期確認			○
化学物質の管理徹底		①使用量の管理徹底		○	○
		②敷地外漏洩の防止		○	○
グリーン購入の推奨		①再生コピー用紙の積極購入	○	○	○
		②再生材料から作られた製品の積極購入	○	○	○
美化運動		敷地の草取り、ゴミ・空き缶拾い	○	○	○

■課題改善活動

出荷精度の向上	教育訓練の重点取組	○		
受入～格納リードタイム短縮	受入れ作業の効率化改善	○		
購入資材コストダウン	品質、取引先の再精査	○		
FAX電子化による用紙枚数削減	電子データにてプリントを判断。ムダ印刷の撲滅	○		
リサイクル商品の拡販			○	
リニューアルプールの契約	FRPプールの施工確保		○	
新規顧客の開拓			○	
生産性向上(改善金額)	作業性改善の提案活動		○	
生産性向上(総能率)	設備更新、サイクルタイム短縮改善			○

9. 環境関連法規等の遵守状況並びに違反、訴訟の有無

評価日:2022年5月20日

評価者:総務課長 萩原 直己

当社に関連する主な法規制は下表の通りである。関連法規制に遵守状況を毎年1回チェックしており、違反はありませんでした。また、関係機関からの訴訟及び近隣からの苦情も過去3年間ありませんでした。

主な適用法規	該当する活動・設備・施設	担当部署	遵守状況
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理	全 社	遵守確認済
	外部委託処理業者との契約		
	廃棄物管理票の確認及び保管		
	廃棄物保管場所表示板の設置		
	委託先の実地確認とその記録の保存		
	マニフェスト交付状況の報告書提出		
騒音規制法	特定施設の設置届け	ダイゴ・あさひな	遵守確認済
	静岡県条例の規制値の遵守		
振動規制法	特定施設の設置届け	ダイゴ・あさひな	遵守確認済
	静岡県条例の規制値の遵守		
省エネルギー法	購入電力、化石燃料の使用量削減	全 社	遵守確認済
消防法	電気乾燥炉の設置届け	全 社	遵守確認済
	危険物取扱者の選任		
	危険物貯蔵庫の設置届け		
	指定可燃物の貯蔵取扱届け		
労働安全衛生規則	電気乾燥炉の作業主任者の選任	ダイゴ・あさひな	遵守確認済
	電気乾燥炉の法定点検		
	木材加工用機械作業主任者の選任		
	はい作業主任者の選任		
有機溶剤中毒予防規則	作業主任者の選任	ダイゴ・伸孝	遵守確認済
	取扱い注意事項等の掲示及び種別の表示		
化学物質管理促進法	S D S の入手	ダイゴ・伸孝	遵守確認済
	特定化学物質の取扱注意事項の掲示と教育		
資源有効利用促進法 (改正リサイクル法)	使用済み物品・副産物の再生資源化	伸孝	遵守確認済
	現場発生ゴミの分別・リサイクル化促進		
フロン排出抑制法	業務用エアコンの自主点検	あさひな・伸孝	遵守確認済
浄化槽法	清掃、定期点検、水質検査	ダイゴ・あさひな	遵守確認済

10. 代表者による全体評価と見直し

2022年5月20日

あさひなグループ 代表取締役 朝比奈 尚希

見直しに必要な情報	情報内容・資料等					代表者指示事項
	内容	あさひな 伸孝(大島) 伸孝(環景) ダイゴ	単位	目標値	実績値	達成率
① 環境経営目標の達成状況	CO2 排出量の削減		kg-CO2/百万円	206以下	231	89%
				534以下	202	264%
			kg-CO2	6,359以下	5,862	108%
			kg-CO2/百万円	636以下	290	219%
	廃棄物削減(再生利用率)	あさひな 伸孝 ダイゴ	%	99以上	100	101%
				61以上	60	98%
				100	100	100%
	廃棄物削減(最終処分)	あさひな 伸孝 ダイゴ	t/百万円	0.0024以下	0.000	100%
				0.010以下	0.007	143%
				0	0.000	100%
② 環境活動計画の実施状況	上水削減	あさひな ダイゴ	m3/人	7.72以下	7.99	97%
				6.30以下	4.92	128%
	社用車燃費向上	あさひな 伸孝 ダイゴ	km/ℓ	全6車中 5車目標達成 全3車中 3車目標達成 全1車中 1車目標達成		83% 100% 100%
	課題改善活動					100%
	出荷精度の向上		ppm	26.0以下	26.5	98%
	購入資材のコスト削減	あさひな	万円	70以上	85	121%
	受入-格納リードタイム短縮		日	2.5以下	3.16	79%
	リサイクル商品の拡販		千円	8,958以上	9,850	110%
	リニューアブルの契約	伸孝	件	2以上/年	2	100%
	新規顧客の開拓		件	1以上/年	1	100%
③ 環境関連法規の取りまとめ/遵守状況チェック結果	生産性向上(改善金額)		万円	15以上/年	10.8	72%
	生産性向上(能率)	ダイゴ	BM=100	104以上	155	149%
	環境活動実施状況を説明					
	環境関連法規の取りまとめ/遵守状況チェック結果で説明					
	問題点の是正・予防処置の状況	(あさひな:CO2排出量の削減、上水削減、受入-格納リードタイム短縮他 伸孝:廃棄物再生利用率増 生産性工場他)				
	外部からの苦情の有無	外部環境情報記録表で説明				
	④ 前回の改善指示内容への取り組み結果報告	①今年度から建設現場の概要及び件数(伸孝景观事業部)を記入する。 ⇒ 記入している ②グループ全体の目標を設定したうえで各社の目標を立て、活動する。 ⇒ グループ全体の目標を策定し(20.8)、活動中 ③HPのロゴマークを最新版の使用する。 ⇒ 最新版に変更済み				
	⑤ 変更の必要性の有無	2019年度より2017年ガイドライン対応済み				
	⑥ 変更の必要性の有無					
	⑦ 変更の必要性の有無					

・CO2の削減に関しては、おおむね良好に推移している。
 ・廃棄物に関しては、容易に廃棄にせず、リユースの徹底に心がけてもらいたい。
 ・燃費が悪化している車輻があるが、使用量の削減に注意すること。

・あさひなのリードタイム短縮は、外注政策を踏まえて検討する。
 ・コロナ禍の影響が大きく起因しているが100%をキープしていただきたい。

・活動の定着化とマンネリ化を防ぐ内容になっている。

・法規の順守はできており、問題ないので維持してもらいたい。

・苦情もなく問題ない。

・コロナ禍であり、業務推進上様々な予期せぬ事態が発生しています。基本に立ち返り根気よく活動を続けていただきたい。